

## ◆テーマを見直す視点

手におえなくはないか？…絞って、より小さなテーマに取り組むよう助言。

例) 『効率の良い暗記法の研究』要因がありすぎるので、「暗記に適した書体(具体的に)」「暗記に適した筆記用具(具体的に)」などある要因に絞る。

言葉の定義は明確か？…「かわいさ」「効率の良さ↑」などとらえ方は様々。どのような方法で計るのか？定義や数値化はされるかなどしっかり考える軸があれば良い。

例) 『疲労回復度』＝「乳酸値」等の数値化や定義をするよう助言。

資金・施設・設備の面で実現可能か？…安価にできる方法はないか。

予測・if・空想世界の話か？…何とでも言えてしまう可能性があり、難しいタイプ。条件設定をしっかりさせる。

## ◆仮説を見直す視点

ひとりよがりではないか？(先行研究を踏まえているか)

当たり前のことではないか？(独創性はあるか)

検証可能か？

研究の目的(明らかにしたいこと)は明確か？

まず、先行研究は調べたか？

関連する制度や法律を理解しているか？

関連する原理や数式を理解しているか？

関連する先行研究・事例を理解しているか？

学術的社会的意義があるか？

## ◆検証方法を見直す視点

その手法を用いた調査・実験は実行可能か？

現象を左右する要因の洗い出しと限定(条件統制)できているか？

複数の要因が絡むので、条件を1つに絞るよう助言。

調査・実験に関するリスク管理の認識は大丈夫か？(安全面と倫理性)

仮説の検証に十分な方法か？

実験群と対照群(統制群)に気をつけているか？

条件を絞った後、1つの条件だけ変化させる必要あり。いわゆる対照実験。

改めて、テーマ(研究課題名)はこの研究内容を示しているか？ズレは無いかな？